

宇都宮北高等学校 進路だより

3年10月号 R3.10.1発行

10月7日で大学入学共通テストまで丁度あと100日になります。共通テストの出願も済み、受験生としての意識も高まってきていると思います。日頃から、集中力を高め、受験本番を意識した学習を心掛けましょう。ここからが本当の勝負です。しっかりとした計画の元、「今やるべきことを今やる」の気持ちで取り組んでください。

10月の進路関係行事予定

- 10/5(火)～7(木) 第2学期中間テスト
- 10/8・9(金・土) benesse 駿台共催記述模試
- 10/11(月) 大学等推薦委員会(第3回)申込締め切り日
- 10/14(木) 大学等推薦委員会(第3回)
- 10/15・16(金・土) 河合塾全統マーク模試
- 10/22・23(金・土) 河合塾全統記述模試
- 10/27(水) 大学説明会(私立大学編)

校外模試が3週連続で行われます。全国の受験生と比較し、自分の現在の立ち位置が確認できる貴重な模試です。しっかりと準備して試験に臨みましょう。また、模試は終わった後のやり直しが大切です。できなかった問題や苦手な分野などをよく把握し、次の試験までにできるようにしておきましょう。なお、今年度もコロナ感染症の影響で公開会場での模試がなくなりました。他校生と一緒に試験を受ける機会を失い、他校生の姿がなかなかイメージできないかと思いますが、全国の高校3年生が進学を目指して必死に勉強しています。皆さんも目標を持ち、計画を立てて学習に取り組みましょう。

試験前	試験当日	試験後	次の試験に向けて
		<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 自己採点をしたか。<input type="checkbox"/> 間違えた問題は、その原因を理解できたか。<input type="checkbox"/> 間違えた問題や解けなかった問題をもう一度解き直してみたか。<input type="checkbox"/> 目標に到達するために、どの科目・分野を勉強したらよいかわかったか。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 理解できていなかった部分を復習しているか。<input type="checkbox"/> 解けなかった問題が解けるように学習計画を立て、実行しているか。

図は benesse より

併願校を考えておこう

10月27日の大学説明会では、多くの私立大学が参加します。第一志望以外の学校の情報を手に入れる絶好の機会です。この機会を使って様々な情報を手に入れ、自分の進路選択の幅を広げることに役立ててください。自分のやりたいことができる大学をしっかりと見定めて欲しいと思います。今回は併願校の決め方について記事を書かせてみました。

(出典：マナビジョン)

■ 併願校決定は「難易度」「入試科目」「入試日程」から決めよう！

併願校を決めるときに考慮したいのが、「難易度」「入試科目」「入試日程」の3つ。どれか1つの観点に偏ることなく、すべてのポイントをしっかり押さえておきましょう。

ただし、何よりも優先したいのは、「進学することになったときに、納得できるかどうか」です。学ぶ内容に興味を持てそうか、必ず調べましょう。

併願校決定3つのポイント！

1 難易度

2 入試科目

3 入試日程

■ 「安全校」「実力相応校」「挑戦校」を難易度別に、バランスよく選ぼう

模試の結果や偏差値を参考に、「安全校」・「実力相応校」・「挑戦校」をそれぞれ数校ずつ選ぶのが、最もベーシックな併願校の選び方です。安全校は模試の判定がA～B、実力相応校はB～C、挑戦校はC以下の大学。異なる難易度の大学を受験することで、合格を手にする可能性が高まります。

ポイントは、あくまでバランスよく選ぶことです。挑戦校しか受けないと、すべての受験が終わるまでハラハラし続けなくてはいけませんし、安全校だけでは、それはそれで気が緩みます。1月以降、受験が進んでいく中での緊張感にかかわってくるので、慎重に考えましょう。

■ 国公立大志望なら「スライド先」も確保しておこう

国公立大を志望している人は、共通テスト本番で目標点を大きく下回ってしまった場合、出願先を変える可能性が出てきます。うまくいかなかったときのことを考えて、前期日程・後期日程の出願パターンを複数考えておくと、出願直前に焦らなくて済みます。

■ 出題傾向も考慮すると、現実的な併願校選択ができる！

併願校をリストアップしたら、出題傾向も調べておきましょう。志望校と出題傾向が似ているなら対策の手間は減りますが、全く異なるようなら、併願校用に特別な対策をしなければなりません。結果的に、入試に向けて対策する勉強量に差が出てくるため、出題傾向が異なる大学を受験するハードルは高くなります。例えば、第一志望校では課されない苦手な英作文が、併願校では出題されるかもしれません。実力相応校だとしても、「なんだか問題の相性が悪そうだな…」と感じたら、併願先に含めるかどうか再考した方がいいでしょう。